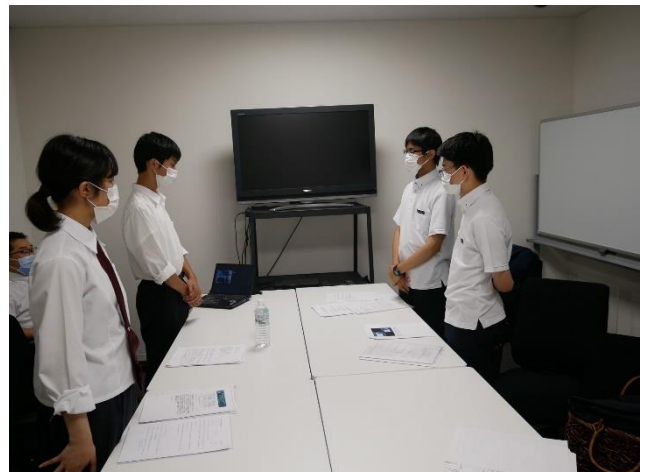


VRシアター「みなとカプセル」は、床面まで映像が映し出されて、まるで海の上を飛んでいるような気分を味わうことが出来、感動しました。



会場入り (14:00) 会場@横浜市役所横浜市会議事室 3階 多目的室

横浜市役所に到着、時間まで控室で発表の練習と最終確認を行いました。



研修会参加 (15:55~)

パソコンの動作確認をし、その後は基調講演を聴講しました。

【基調講演】 講師：国立研究開発法人海洋研究開発機構 (JAMSTEC) 付加価値情報創生部門
地球情報科学技術センター データサイエンス研究グループ
研究員 博士 日高 弥子 氏



えんだい じちたい れんけい かそく かいよう けんきゆう うみ じれい
 演題：「自治体との連携で加速する海洋ごみ研究－海ごみ AI を事例に－」



うみごみ AI プロジェクト（世界中の海ごみの情報を時間空間的に定量化する技術を作ること）について、事例をもとに説明をいただいたのと、現在の自治体との連携状況、今後の展開などについて聴講しました。海洋プラスチックが引き起こす問題、美しい海岸が持続的に維持されるために、地元の人が地元を科学し守ることの大切さなどを学びました。

かつどうはっぴょうほんばん
 活動発表本番（16:40～）



よしいかんちよう たかほしかいちょう そば みまも
 マリエント吉井館長と、シニア高橋会長も傍で見守ります。いよいよ発表本番です。



100名以上は収容できるほどの広さの会場で、さらには Zoom での参加者も含め、多くの皆さんを前に緊張しながらも、息を合わせて挨拶と、まずは自己紹介をし、マリエントとたんけんクラブの紹介（発足の経緯）、JpGU への取り組み紹介（三陸ジオパークについての学習）と 2022 年大会を終えての感想と今後の目標などについてをそれぞれパートに分けて、パワーポイントを用いて発表しました。

2019年、2020年のこれまでの大会での取り組みも振り返りながら、三陸ジオパークについての学習内容を紹介します。

たんけんクラブの特徴として、活動毎にレポート作成を大事にしていることを紹介。



「JpGUでの発表を終えて、発表することの大変さ、基礎的知識の充実、多くの方々からの質問と助言、応援とで色々な事を学びました。学会発表の醍醐味を感じました。」と、たんけんクラブの活動をとおして実感した感想を伝えました。



ご清聴ありがとうございました

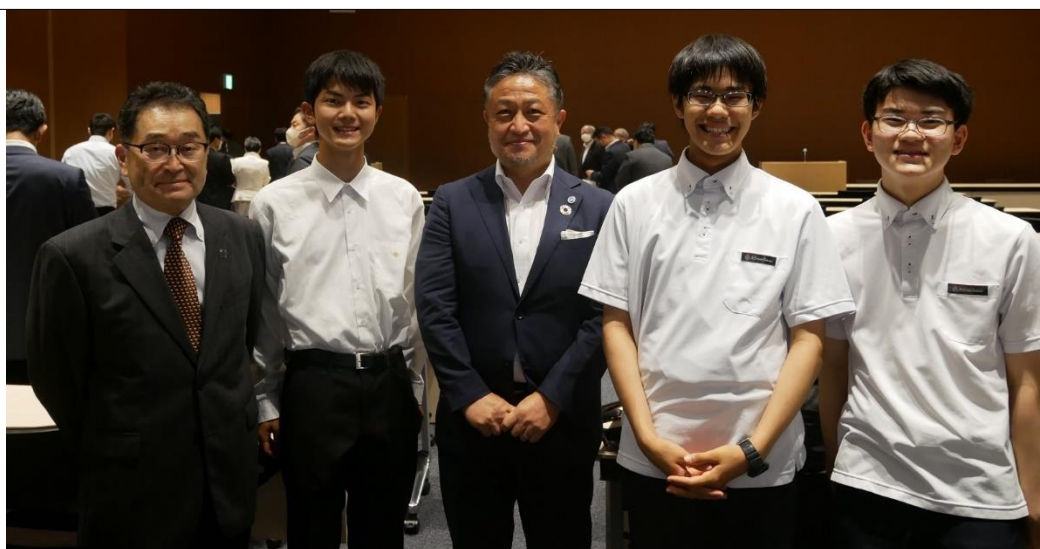


ぶじ はっぴょうしゅうりょう
無事に発表終了しました。

デーリー東北・東奥日報の東京支社の記者の方々に取材にご協力いただきました。



発表後、クラブ会員 憧れの JAMSTEC 理事 倉本 真一 様より、激励のお言葉をいただき、
記念にご一緒に写真を撮らせていただきました。



最後となりましたが、本発表の機会をいただきました、坂本 美洋 会長をはじめとする
我が国の海洋研究を推進する市議会議員連盟の皆様、参加にあたり、御支援・御協力をい
ただきました八戸市、横浜市、多くの関係機関の皆様にご心より感謝申し上げます。

また、発表の資料作成等ご指導くださいましたたんけんクラブ・シニア 高橋 晃 会長、さらに、
大会参加にご理解御協力をいただきました参加メンバーのご家族の皆様、誠に有難うございました。

マリエント「ちきゅう」たんけんクラブ・シニアといたしましては、この素晴らしい体験の機会を与え
ていただいた関係者の皆様へ感謝し、今後もクラブの活動に励み、情報発信にも積極的に取り組んで参
りたいと思っております。

将来の海洋研究開発に関わり海洋の未来を切り拓く人材育成を目指して、マリエント「ちきゅう」た
んけんクラブ活動の更なる充実に向けスタッフ一同さらに精進してまいりますので、今後ともご指導ご
協力の程宜しくお願い申し上げます。

スナップ



せんない あんない しょくいん かた いっしょ まねんまつい
船内を案内して下さった職員の方と一緒に記念撮影



フォトスポットで好きな写真をバックに撮影



はっぴよう 発表メンバーのシニア会員の皆さん、お疲れ様でした！

